

## 第 13 回「インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」プログラム

主催：ライフライン防災・減災技術の高度化と体系的活用検討小委員会

共催：防災・減災への AI・IoT 技術の利活用に関する研究小委員会

2023 年 1 月 12 日（木）

9:10～9:15	開会挨拶 防災・減災への AI・IoT 技術の利活用に関する研究小委員会 委員長 ライフライン防災・減災技術の高度化と体系的活用検討小委員会 副委員長 丸山喜久（千葉大学）	
9:15～10:30	セッション 1 座長：丸山喜久（千葉大学）	
	福島地域の地震動スペクトルの再現性	朱牟田善治（神奈川大学）
	青森県の防災減災から考える V・UHF 帯周波数における電波伝搬特性	杉田尚男（八戸工業高等専門学校）
	首都高地震観測記録の GIS による可視化に関する一検討	山本泰幹（首都高速道路技術センター）
	ランガー補剛形式水管橋の振動モニタリングによる健全度評価	森岡朝子（神戸大学）
	震災経験は管路の耐震化を促進させるのか	寺岡凜太郎（神戸大学）
10:30～10:45	休憩	
10:45～12:00	セッション 2 座長：楢田泰子（神戸大学）	
	2016 年熊本地震前後の多時期航空レーザ計測データを用いた南阿蘇村の建物撤去状況の把握	山崎文雄（防災科学技術研究所）
	人工衛星の合成開口レーダーによる洪水時の浸水域推定	西川隼人（福井工業大学）
	耐震継手管を用いた断層横断部の配管設計方法構築に向けた挙動確認実験と再現解析	森本皓一（栗本鐵工所）
	強震動並びに地表断層変位の作用を受ける上・下水道埋設管路の脆弱性特性	岡野莉子（筑波大学）
	インフラ・ライフライン構造物のための自然外乱に対するレジリエンスデザイン	山本翔吾（筑波大学）
12:00～13:00	休憩	
13:00～14:15	セッション 3 座長：庄司学（筑波大学）	
	道路ネットワークのリスク評価手法の概要と阿蘇大橋地区での試行結果	中川拓真（国土技術政策総合研究所）
	2022 年 9 月 18 日に台湾で発生した M6.8 の地震によって被災した構造物の現地調査報	小野祐輔（鳥取大学）

	告	
	河川の洪水による橋梁被害の安全度評価式に関する考察	小澤和真（東洋大学）
	SPH 法による緩衝材の津波波圧低減効果に関する解析的検討	渡辺高志（構造計画研究所）
	東北地方太平洋沖地震における長周期吊形式インフラ構造物の地震応答の推定	相良翔（筑波大学）
14:15～14:30	休憩	
14:30～15:45	セッション 4 座長：小野祐輔（鳥取大学）	
	津波作用の低減に対する構造物の側面勾配と緩衝材の複合効果について	有賀義明（弘前大学）
	熊本地震で顕在化した橋梁—添架管路—地盤系の連成振動	北島佑（筑波大学）
	2011 年東北地方太平洋沖地震におけるインフラ・ライフライン敷設地点のサイト波	安原知輝（筑波大学）
	常時荷重による水道管路の管体ひずみについて その 2	清野純史（京都大学）
	小型加速度計を使った水管橋の健全度診断の方向性	鈴木崇伸（東洋大学）
15:45～15:50	閉会挨拶 ライフライン防災・減災技術の高度化と体系的活用検討小委員会 委員長 小野祐輔（鳥取大学）	

※1 件あたり発表 12 分，討議 3 分，合計 15 分です。

※セッションの開始時刻は当日の進行により遅れる場合があります。

※ZOOM 会場は 9:00 開始予定です。